

窮状打開ほど遠い評価

初再診料の抜本増、金パラ問題の解消求める

平尾清司 社保研究部長が談話

中医協が2022年度診療報酬改定の内容を厚労相に答申したことを受け、平尾清司 社保研究部長（写真）は16日、次の談話を発表した。



- ・初再診料は3点の引き上げ
- ・OL資格確認へ加算し政策誘導

診療報酬改定にかかわる答申が中医協から厚労大臣に提出された。まず、初再診料はわずかに3点の引き上げにとどまった。歯周基本治療処置の廃止も財源に充てながら、歯初診の新たな研修項目に

認でない。

- ・残る一物二価
- ・基礎的技術料
- ・評価不十分

か強診は、Ceに対する処置や歯周病安定期治療に一物二価を生み、同一医療機関で治療を受けた患者間でさえ、負担金が異なる矛盾をもたらしている。今回SPTIとIIが統合・整理されたが、一物二価などの基本矛盾は引き続き残っている。給付内容と直接結び

象拡大など、在宅歯科医療の推進策が盛り込まれているが、訪問診療であれ、外来診療であれ、基礎的技術料の十分な評価があつてこそ生きてくる。

- ・低点数押し付け
- ・長期維持管理
- ・コデンタルの
- ・評価不十分

その意味では、抜髄や感根処置をはじめとする歯内療法などが引き上げられたが、わずか2点程度に留まっている。また、重症化予防や口腔機能管理

廃止など、協会の要求が反映された項目もある。これは現場の声を国会議員や厚労省へ届けてきた粘り強い運動の成果である。しかし、歯科衛生士や歯科技工士の独立評価の拡大は不十分であり、歯科医療を取り巻く窮状を打開するにはほど遠い評価といえる。誰もがいつでもどこでも安心して安全な医療が受けられるよう、保険でよい歯科医療の実現に向け取り組みをさらに強める決意である。

政策 22年改定の最新動向 学習会



2022年診療報酬改定の動向を学ぼうと協会は12日、政策学習会をM&Dホールで開き、オンラインでの参加を含め127人が参加した。社保研究部の平尾清司部長が診療報酬改定の最新情報を、政策部の江原豊部長が自公政権下の社会保障費抑制について解説した。

検査キットを無償配布 配布申込みはWEB限定

大阪府は16日、医療機関等を対象に、医療従事者の早期の職場復帰等を目的とした「抗原定性検査キット」の無償配布を始めた。キットの使用用途は、濃厚接触者となった医療従事者に対し自宅待機をしない、就業前の毎日検査▽自宅待機期間の短縮。配布される検査キットは1医療機関一律50テストで、使用実績の報告は必要ない。配付申込みは府HPで受け付けている。

事業概要・WEB申込みはコチラ
ID: kougen
パスワード: kensa
※一般に非公開のため取り扱い注意



歯界

北京で開催中の冬季オリンピックがもめている。力選手も少なくない。ジャンプの高梨沙羅選手はスーツの違反で失格。ロシアのワリエワ選手はドーピング疑惑の渦中にある。スピードスケート・ショートトラックは開催国である中国寄りの判定が物議をかもした。

オリンピック憲章では、「人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を奨励する」ことを目標の一つとするが、五輪は国の威信をかけた、選手はメダル獲得を期待される。日本人の五輪メダリスト第一号は、1920年のアントワープ大会でテニス個人とダブルスで銀メダルに輝いた熊谷一弥氏だった。熊谷氏は当時、最強と目されていたが、決勝では惜しくも敗退した。

マスコミは各国のメダル獲得数を比べ、勝利した選手を称え、視聴者は一喜一憂する。不正とメダル至上主義はコインの裏表だ。

大阪 保険医新聞

2/25
2022年第1419号
(毎月5、15、25日発行)

会武 大阪府 歯科保 険医協 会
行 人 和 田 武 田
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
http://osk-hok.org/
● 定 価 年 間 10,000 円 月 1,000 円
● 1977 年 5 月 23 日 第 三 種 郵 便 物 認 可



一般社団法人
大阪ファルマプラン
理事長 廣田憲威氏

後発医薬品メーカーの不祥事

薬機法違反問題を考える⑤

適切な製造管理

一連の不祥事を受けて厚労省は、日本製薬団体連合会（日薬連）に対して2020年12月11日付で「医薬品の適切な製造管理等の徹底について」（医薬・生活衛生局監視

者に対する管理監督を徹底し、製造業者との緊密な連携を図る③製造販売業者及び製

指 導 ・ 麻 薬 対 策 課 長 通 知 を 発 出 した。通知の内容は①製造業者は、製造管理に関する定期的な自己点検、職員に対する教育訓練の実施など、適切な製造管理体制を確保するための取組を実施する②製造販売業者においては、製造業

造業者においては、医薬品に関する適正な情報提供体制の確保や、有事の際のリスクマネジメント体制を確認する④製造販売業者及び製造業者においては、①から③の取り組みを含め、実施する業務が薬事に関する法令に適合することが確保される体制を整備することの4点であった。

繰り返し不正

こうした通知が出されること自体、異例の事態といえる。残念に思うのは、厚労省

の製品を販売するSeikaファルマは、15年5月に血液製剤の製造記録を40年以上にもわたり偽造し隠蔽したことで行政処分を受けた化

製薬企業各社には改めて、生命関連物質である医薬品を製造する自覚と責任を認識し、安全で高品質な医薬品の製造と供給を確実にすることを中心と願っている。今回の事件によって、シネリックス

医療現場から監視の目を

「安かろう、悪かろう」とい

協会直通番号のご案内
保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。
社保研究部 06-6568-7467
共 濟 部 06-6568-7438